

社会科学習指導案

指導者 神石高原町立油木小学校 住原 紀恵

- 1 日 時 平成26年10月22日(水)
- 2 学 年 第5学年
- 3 単元名 「わたしたちの暮らしと環境」(全18時間)
小単元「森林は、なぜたいせつなの」(本単元)
小単元「災害から、くらしはどのように守られているの」
小単元「環境は、どのように守られているの」

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、大単元「わたしたちの暮らしと環境」の第1単元である。小学校学習指導要領内容(1)「我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。」エ「国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止」を受けて構成している。

本小単元では、森林の働きやその森林を保護・育成する人々の活動に焦点を当て、なぜ森林を守ることが大切なのかを考えさせる。

(2) 児童観

本学級の児童の社会科に対するアンケートによると、全員が社会科の学習は楽しいと感じており、資料を活用して調べたりまとめたりする活動を楽しんでいることが分かった。友だちの意見や複数の資料を比べたり関連付けたりして考えようという意識ももっている。しかし、実際の学習の様子を見てみると、資料の数値を読み取ることはできても、そこからどんなことが言えるのかを考えたり、友だちの意見や自分の考えをかかわらせてさらに深めてまとめたりすることを苦手としている児童もいる。

「森林」に対するアンケートでは、森林について知っていることとして、「森林が減っている」「木が切られている」という意見が多かった。森林は減少しており、木を切ることはよくないことだという意識があることが分かった。また、森林を守るために自分にできることとして、「森林にごみを捨てない」「木を折らない」という意見が多かった。森林を守るために自分にできることについては、まだ具体的な考えをもっていないことが分かった。

(3) 指導観

指導にあたっては、まず、我が国と世界の森林面積を比較することで、我が国には森林が豊富にあることを理解させる。その後、牡蠣の養殖業者が山に植林をしている写真を提示し、「なぜ森林を育てる活動が必要なのか。また、森林を守るために、自分たちに何ができるのか」という学習課題を設定する。そして、単元を貫く言語活動として、「森林の大切さを伝えるリーフレットづくり」を設定し、目的意識をもって学習を進められるようにする。

調べる段階では、「話す」「聞く」「書く」「読む」という言語活動を重視する。個人で調べるときは、図やグラフ、本や文章の資料を読みとらせ、分かったことを文章や図でノートに書かせる。そ

の後、ペアやグループによる話し合い活動を行い、それぞれの意見や調べた情報を関連付けたり合わせたりして考えを深めさせるようにする。そこで話し合ったことを全体で練り合っていくことで、調べた事実からどのようなことが言えるのかを考えていきたい。

また、「考え方・話し方モデル」を掲示し、資料を読むときや友だちの話を書くときの視点として活用させる。

5 小単元の目標

- 我が国の森林の現状や森林資源の働き，森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力について調べ，国土の保全などのための森林資源の働きが分かり，森林の保全の重要性について関心を深める。
- 森林の保全のためには国民一人一人の協力が必要なことに気付き，環境保全と自分自身とのかかわりについて思考・判断したことを分かりやすく表現することができる。
- 地図や統計などの資料を活用し，森林の保全について必要な情報を集めて読み取ったり整理したりすることができる。
- 我が国の国土の土地利用全体に占める森林面積の割合や森林の分布の現状，国土の保全や水資源の涵養などの森林資源の働き，森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力について理解し，森林保全のためには国民一人一人の協力が必要なことを理解している。

6 評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
<p>①我が国の森林面積の割合や森林の分布の現状，森林資源の働き，森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力に関心をもち，意欲的に調べている。</p> <p>②森林の保全に関心をもち，協力の大切さを考えようとしている。</p>	<p>①我が国の森林面積の割合や森林の分布の現状，森林資源の働き，森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力について，学習問題を設定し学習計画を立てている。</p> <p>②森林の保全の重要性を国民生活と関連付けて思考・判断し，国民一人一人の協力が必要であることを表現している。</p>	<p>①地図や資料などの資料を活用して，森林の保全について必要な情報を集めて読み取ったり整理したりしている。</p> <p>②調べたことをリーフレットにまとめている。</p>	<p>①国土の保全や水資源の涵養などの森林の働きを理解している。</p> <p>②森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力などを理解している。</p> <p>③森林の保全を進めるには国民一人一人の協力が必要であることを理解している。</p>

7 指導計画（全8時間）

次	主な内容と学習活動	評価						
		関	思	技	知	評価規準	評価方法	
一 つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 日本には多くの森林がありながら、牡蠣業者が森づくりの取組みを進めている現状を資料を活用して話し合い、学習問題を設定し、学習の見通しをもつ。（1） 	○					<ul style="list-style-type: none"> 我が国の森林の現状を知り、関心をもっている。 	発表 ノート
	どうして森林を育てる活動が必要なのだろう。 また、森林を守るために、わたしたちには何ができるのだろう。							
二 調べる	<ul style="list-style-type: none"> 森林の働きや役割を調べ、分かったことを話し合う。（1） 				○	<ul style="list-style-type: none"> 森林の働きを理解している。 	発表 ノート	
	<ul style="list-style-type: none"> 森林組合ではどのように森林を育てているのかを調べ、林業にたずさわる人々の工夫や努力について話し合う。（1） 				○	<ul style="list-style-type: none"> 森林を保護、育成するためにいろいろな工夫や努力をしていることを理解している。 	発表 ノート	
	<ul style="list-style-type: none"> 輸入材が多く国産の木材が使われていないのはなぜか資料を活用して調べ、日本の森林の課題について話し合う。（1） 			○		<ul style="list-style-type: none"> 日本の森林の課題について、資料を活用して読み取っている。 	発表 ノート	
	<ul style="list-style-type: none"> 「ひろしまの森づくり県民税」がどのように使われているのか調べ、森林を守る活動がどのように進められているのか話し合う。（1） 			○		<ul style="list-style-type: none"> 森林を守る活動について、資料を活用して読み取っている。 	発表 ノート	
三 まとめる	<ul style="list-style-type: none"> 森林を守るために、自分たちにできることはないか考え、話し合う。（1） 		○			<ul style="list-style-type: none"> 森林を守るために自分自身ができることを表現している。 	発表 ノート	
	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習をまとめ、森林の大切さを伝えるリーフレットをつくる。（2） 		○			<ul style="list-style-type: none"> 森林の保全の重要性をまとめ、国民一人一人の協力が必要であることを表現している。 	発表 リーフレット	
森林には、雨水をたくわえて土砂崩れや洪水を起こす危険を減らしたり、二酸化炭素を吸収したりするなど、わたしたちの暮らしを守り豊かにする働きがあるから、森林を育てる活動が必要だ。林業で働く人は、植林、下草刈り、枝打ち、間伐をして豊かな森林を育てている。森林を守るために、わたしたちは間伐材を使った商品や日本の木材を選ぶ意識が必要だ。								

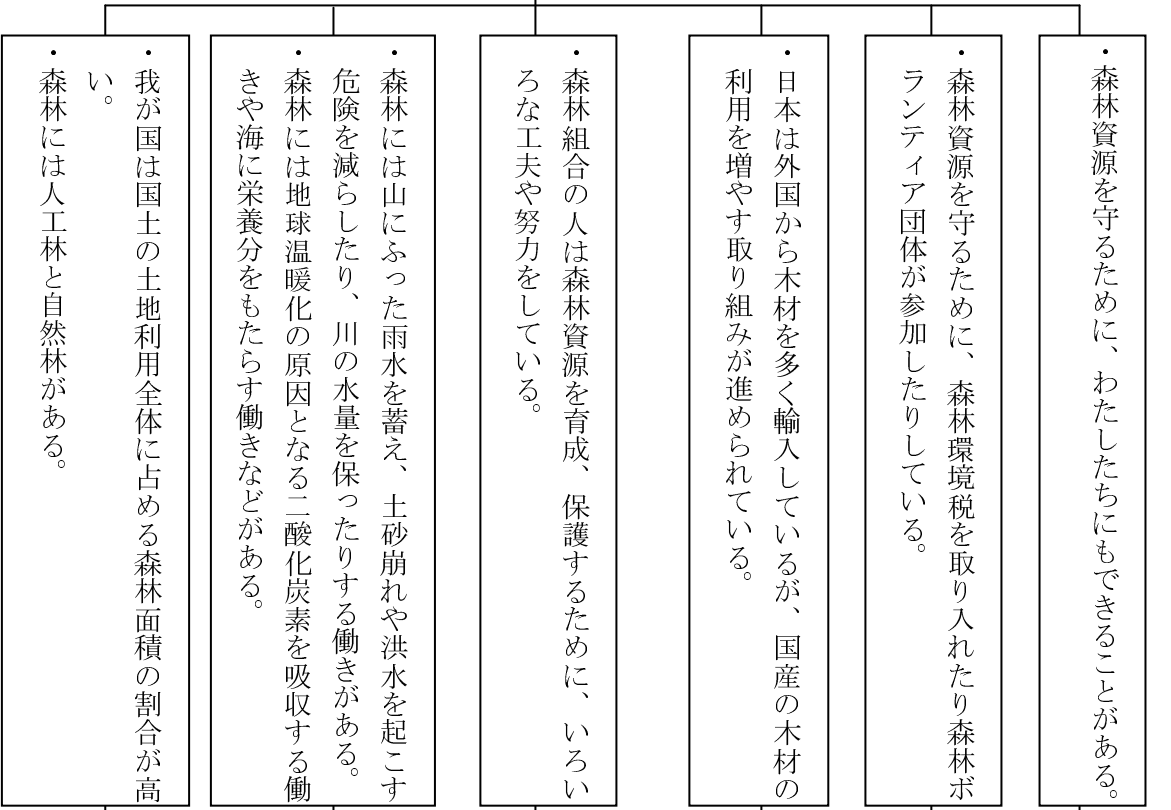
8 知識の構造図

〔学習指導要領の「内容」との関連〕
 ○内容（１）
 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。
 エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

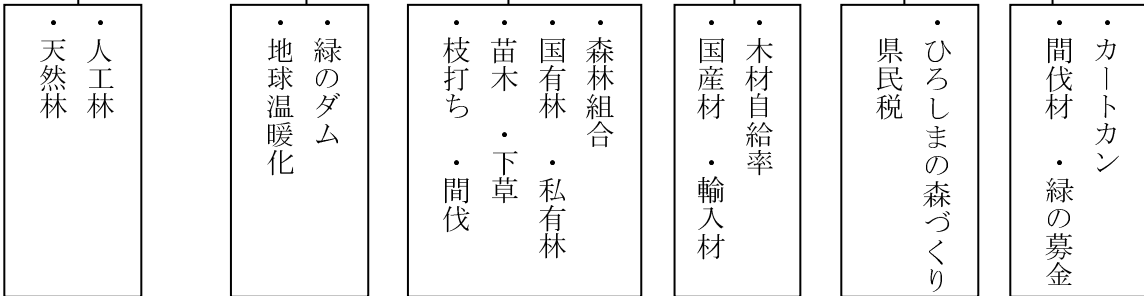
【中心概念】

森林は、国土や環境保全などの上で大切な働きをしており、森林の保全のためには国民一人一人の協力が必要である。

【具体的知識】



【用語・語句】



9 本時の展開

○本時の目標 (6 / 8 時)

日本の森林を守るために、自分にできることは何か考えることができる。

○本時の展開

	主な学習活動	指導者の支援と評価
つかむ	1. 日本の森林の問題をふり返る。 ・働く人が減少している。 ・外国から輸入して、日本の木材を使っていない。 ・森林を守るために、地域や県が対策をとっている。 2. 本時の課題を確認する。	・学習計画をもとに、これまでの学習を振り返らせる。
さぐる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">日本の森林を守るために、自分たちにできることは何だろう。</div> 3. カートカンについて知り、カートカンを使うことがどうして環境を守ることになるのか考える。 ○カートカンを調べる。 ・「間伐材」のマークがある。 ・「間伐材を30%配合している」と書いてある。 ・募金のマークがある。 ・「緑の募金」と書いてある。 ・リサイクルマークがある。	・カートカンの実物を提示し、紙製品なのにどうして森林に優しいのかを考えさせる。 ・「間伐材マーク」や「緑の募金」の意味を説明する。
ねりあう	○どうしてカートカンを使ったら環境を守ることができるのか考え、話し合う。 ・使っていなかった間伐材を使うことができる。 ・木を無駄にしなくていい。 ・新しい木を切らなくてすむ。 ・ペットボトルや缶を使う量が減る。	・これまでの学習も振り返らせ、間伐が進まないと森林の力が弱ることや、森林組合の人や県が間伐を進めていたことと関連して考えさせる。
まとめる	4. 森林を守るために自分にできることは何か考える。 ・家族にカートカンのことを教える。 ・間伐材を使った製品を選ぶ。 ・紙を無駄遣いせず、リサイクルする。 ・緑の募金をする。 ・ボランティア活動に参加する。 5. 本時の学習をまとめる。	・カートカンの年間消費量を知らせ、消費量が少ないことから、自分たちにできることは何か課題意識をもたせる。 ○森林を守るために自分にできることを具体的に考えている。 ・リーフレットの「森林を守るために自分にできること」という項目に書かせる。
	森林を守るために、カートカンや割りばしなど、間伐材を利用したものを積極的に使う。間伐は森林に栄養を与えるために必要なことだ。間伐材をむだにしないことが大切だ。	